

年 組 名前:



行員と農園経営 「二刀流」で30年

甲州・小沢さん 果物味わえるカフェ人気

甲州市勝沼町綿塚の小沢利秀さん(61)は銀行員として働く傍ら、家業の果樹園を継ぎ、カフェと宿も経営してきた。自分で栽培した桃などを提供するカフェには、県内外から多くの観光客が訪れている。小沢さんは「世界から求められるような桃やブドウを作り、多くの人の喜びや健康に貢献したい。宿やカフェの取り組みを地元への振興にもつなげたい」と話している。(鈴木なつ美)



小沢利秀さんが栽培するシャインマスカット。季節に合わせてパフェに使って提供する＝甲州市勝沼町等々力



1階のカフェでは果物を使ったスイーツなどが楽しめる。2階の宿は果樹園を見渡すことができる＝甲州市勝沼町綿塚

小沢さんは1985年に山梨中央銀行に入行。92年に父親が亡くなったことをきっかけに、両親が営んでいた果樹園を継いだ。親戚から指導を受けたり講座に参加したりして、農業の知識を身に付けたという。

仕事の日も早朝や夜に農作業に励むなど苦労もあったが、行員としての足跡を残すことに決断した。2013年に「観光で来てくれるお客さんが果物を食べ喜んでくれる場所をなくしたくなかった」と振り返る。

果樹畑を見渡せる景色や果物を楽しんでもらおうと、2階建ての自宅兼作業場をリノベーション。2022年7月に「カフェ ベル レザン」(1階、23年3月には「果実の見える宿」(2階)をオープンした。カフェでは桃やブドウをふんだんに使ったパフェなどを提供。宿では地元の食材を使ったコース料理を振る舞うほか、桃やブドウの栽培収穫体験も楽しめる。

小沢さんは「ここ半年ほどでカフェを訪れる人が増え、宿は山梨の果樹畑に興味がある外国人の利用もある」と話す。

小沢さんは6月に同行を退職。現在の事業や新事業をステップアップするため一区切りとした。といい、「これからも探究心を持ち、さまざまなことに挑戦していきたい」と意気込んでい

(2024年8月30日付 山梨日日新聞 19面)

問1 甲州市の小沢さんは、銀行を退職するまで、なにとの二刀流でしたか。

.....

問2 小沢さんは、自宅兼作業場をリノベーションしました。その店名と特徴を教えてください。

店名 特徴

1階:

2階:

問3 小沢さんは、この場所を、どのようにしたいと考えていますか。

.....

.....